

近年、セクハラ・パワハラ・マタハラなど、「ハラスメント」という言葉が世の中に溢れ、他者を不快にさせる行為として、法律によっても整備されてきました。「どこまでがハラスメントになるのか？」が難しく、気にするばかりにコミュニケーションが取りにくくなっていると感じる方も多いと思います。ハラスメントも、そこにあるには人権意識です。人を思いやる気持ちは、ハラスメントの一つの基準となるはずです。



香害～その“香り”困っている人もいます

“香害”(こうがい、かおりがい)という言葉が、最近よく聞くようになりました。“公害”をもじった言葉で、化粧品や洗剤・柔軟剤などの合成香料によって不快感を覚えたり、気分が悪くなったりする健康被害のことを指します。

2012年に内山巖男・京都大学名誉教授らが約98万人に調査した結果では、我が国の“香害”被害者は1千万人程度、その中で「潜在患者」を含む化学物質過敏症の疑いが濃い人は550万人程度いる可能性が示されました。

日本では、約20年前から香りの強い柔軟剤(洗濯の仕上げに使用)が普及したこともあり、それらの香りで頭痛や吐き気がしたなどの相談が全国の消費生活センター等に多く寄せられるようになりました。

こうした全国各地からの苦情の高まりを受けて、2021年には国の5省庁の連名で、香害に関するポスター(※1)が作られ、全国の地方自治体や教育委員会などに配布されました。

香害の症状を抱えている人の中には、「電車に乗れない」「同僚においが苦手で会社を辞めた」「学校に通えない」といった方もおられ、日常生活に深刻な支障が出ています。

“香り”は人それぞれで感じ方が異なり、目に見えないため、周囲の人々の理解を得にくいのも、当事者にとっては悩みの種です。ちなみに、香害については“化学物質過敏症”との関係性が、専門家により指摘されています。少量の化学物質でも、体が過敏に反応してしまう症状のことでです。

その特徴は、「花粉症と同じように突然発症する」「一度発症すると、わずかな量でも症状が出る」「反応には個人差が大きい」などです。例えば、昨年8月にNHKの番組で紹介された或る小学生の事例では、「学校の体育館や音楽室などで他の児童の香りを感じると、じんましんが出たり、足が痛くなったりする。特に体育館では一杯吸ってしまうので、苦しい思いをすることが多い」などと訴えています。(※2)

まだ効果的な治療法が確立していないため、症状が改善しない人も少なくありません。このため、対策としては先ず、原因となる化学物質を避けることが大切です。近年、柔軟剤などに含まれる香料は、“マイクロカプセル”というプラスチックの膜で覆われているものが増えています。それが、服を触るなど外部からの刺激で膜が破れることにより、香りが徐々に長いあいだ放たれます。マイクロカプセルは香料の効果を長持ちさせる技術ですが、その普及が香害の増加に関連しているとの見解もあります。

国の合同ポスターでは「使用される場合は、使用料の目安なども参考に」と記されています。しかし、メーカーの推奨する使用量を守っても、香害の症状に苦しむ人が少なくないことも事実です。このため、洗濯や化粧品を使う際などに、香りの強い製品を使わないといった配慮をすることも、“人への思いやり”として大切だと思います。



(※1) 合同ポスター(消費者庁・文部科学省・厚生労働省・経済産業省・環境省)
「知ってください!! その香り、困っている人もいます」(2021年8月)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/other/assets/consumer_safety_cms205_230711_01.pdf

(※2) NHK「柔軟剤 香りで体調不良の相談増加なぜ?」
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230801/k10014147781000.html>

(※3) 北杜市ポスター「香料自粛のお願い～香りですらい思っている方がいます～」
https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/fs/4/1/2/1/1/7/_/_/______.pdf

今後の予定

人権移動教室 6月6日(木) 甲府市立善誘館小学校において、人権移動教室を開催します。

<お詫びと訂正> 先月号「山梨県の新たな教育振興基本計画について」の記事にて、文末から2行目「して、」部分、正しくは「そして、」でした。訂正とお詫びを申し上げます。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株)とちの木、(株)ACL

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立里垣小学校 (六年生女子)

人権について

私は今回人権についてのお話について聞いて、人権はとても大切であり何もむずかしいことであることが分かりました。また、人権とは命と幸せを守るための権利だと分かりました。また今回の人権教育で、私が一番心に残ったのは杉藤さんが持ってきて見せてくれた国境なき医師団(MSF)の活動紹介ビデオです。色々な所で命のき険もかえりみずに入々のちりょうをしていゝるすがたかとても心に残りました。また、国境なき医師団(MSF)の団長みたいな人がいていた言葉もとても頭に残りました。また、杉藤さんがこの機会を折った時に行ったニューヨークでのお話もとても興味ぶかかったです。アメリカ人はとてもやさしいのだなと思いました。私はこれからの生活で、今日言われた言葉を頭の中にしまいながらよい人生を生きていきたいです。

甲府市立湯田小学校 (六年生女子)

杉藤先生に人権のことを教えてもらい、人権とは、自分の命、幸せを守ることで、一分でも、一秒でもわすれてはいけなことがわかった。幸せを守るために大切なことは、人を思いやることだそう。理由は、幸せになるには、人のことなどどうでもいいと思ってる。でも、こう思っていることで、自分がどんどん周りの人からきうられてしまう。なぜなら、周りの人のことを考えていないと、自分勝手、自分が幸せならいいという人がいる。そういう人は、周りの人からきうられてあたり前だからだ。こうならないためには、勇気を出しておとしよりに席をゆずるなどの練習が必要なのだ。そして、考えるよりも先に体が動くようになるのだ。

この話をしている杉藤先生の表情はとてもしんけん、私たち5年生に、人権のことをしっかり知ってもらい、覚えておいてほしい。そう思いながら話をしていると感じた。人権のことをしっかり覚えておこうと思った。